

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービスC.win

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		指導訓練室などのスペースは適切に確保しておりますが、不要なものを片付けて子どもたちが安全に過ごせる場を作っていけるよう努めます。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		規定上の人員配置を行っております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		階段やトイレにはしっかりとスロープ、手すり等を設置しておりますが、階段が急な段差となっておりますので、児童が階段を使う場合はしっかりと支援員が同行していくよう共有しております。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%		週一で会議を実施しており、一週間の振り返りを行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		アンケート調査の結果は毎回職員に共有しており、業務改善に繋げております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページで自己評価表を公開しており、職員で共有しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	40%		第三者委員会の設置には至っておりませんが、関係機関や有識者からの評価を基に今後のサービスの向上を図りたいと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	毎週研修を行っている	昨年度から、様々な観点の研修を実施しております。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		個別支援計画書については、モニタリングを行い、目標の達成度や課題を保護者様と共有して作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%		外部のアセスメントツールを導入しており、今後研修などにより職員全体に共有できるよう努めてまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	会議で決めている	週一の会議にて、職員全体でプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	季節によって色々な活動を取り入れている	様々な活動プログラムを職員全体で立案している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		課題を細かく設定しており、職員に共有している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		これからも個々の特性を十分に考慮し、個別支援計画と集団活動を組み合わせ、プログラムしていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	打ち合わせをするが、全員で共有できていないこともあるので共有していきたい	情報を共有し、役割を分担していこうと思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		ミーティングの回数を増やしていこうと思います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		記録の取り方について指導も行い、全職員が記録を取ることを徹底していきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		継続して取り組みます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%		ガイドラインは研修などで共有していますが、まだまだ共有できていない部分があるので引き続き研修などでガイドラインを取り上げていこうと思います。	
関 係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		日々子どもたちに接している職員が参加していないことで支援の質の低下、職員全員に情報共有が困難にならないように、会議に参加します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%		送迎の際に日々の状況、学習の進展等聞き取り、担当者会議時に支援内容の共有をしています。些細なことが重要事項につながることもありますので伝達漏れがないように努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	20%		現在、医療的ケア児の受け入れはございませんが、必要性がある場合には、関係機関に繋ぎ、積極的に連絡体制づくりに努めます

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%		モニタリングで情報交換をして相互理解に努めております。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		スムーズに移行できるように、状況の提供を行っています。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	Zoomで研修を行っている	部会などを通じ助言を頂いております。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	40%	60%		コロナの状況を見ながら季節の行事やイベントなどと合わせて行っていこうと思います。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	40%	60%		昨年度はコロナの中で実施がなかったため、今年度は実施があれば参加していきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		毎日送迎の際などに保護者と意見交換をして共通理解を持つことに努めています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	80%	20%		保護者の悩みを聞き助言を行い支援をしています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		書面を作り送迎の際に丁寧に説明しています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		事業所で取り組んでいる支援を保護者に伝えてご自宅でもできる支援を伝えていきます。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	60%	40%		コロナの状況を見ながら懇談会や個別で話し合いができる場を作っていこうと思います。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情相談窓口を設置している	ご家庭のニーズなどを職員で共有し適切に対応できる体制を整えています
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月に1回、C.win通信というお便りを発行している	昨年度から「C.win通信」という活動報告を作成し、月に1回保護者に対し発信している。
	35 個人情報に十分注意している	100%	0%		最大限の注意を払って取り扱っております。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		個々に合わせた伝達方法で情報提供に努めています。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	80%	20%		昨年度はコロナの影響で実施は見送っておりましたが、今年度は状況を見ながら実施していけるよう努めます。	
非 常 時 等 の 対 応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		しっかりと保護者に周知していただけるように努めておりますが、お便りなどを作成しより一層の周知に努めて参ります。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		毎年5月と11月に避難訓練を行っています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		研修は適切に実施しておりますが、虐待についてはこれから研修の機会を増やしていこうと思います。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		現在、身体拘束の必要のある方のご利用がありませんが、慎重に対応していきます
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%		現在、医師の指示書に基づく適切な対応が必要な方のご利用はありませんが、慎重に対応していきます。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		事例集は作成してあるのでミーティングなどで共有していこうと思います。